

2020年5月8日

各位

会社名 EPSホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役 巖 浩  
 (コード番号: 4282 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 副社長執行役員  
 関谷 和樹  
 (TEL. 03-5684-7873)

**業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年11月7日に公表しました2020年9月期（2019年10月1日～2020年9月30日）の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

**I. 業績予想の修正について**

1. 2020年9月期通期連結業績予想数値の修正（2019年10月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	72,500	6,170	6,320	3,540	77 39
今回修正予想 (B)	62,000 ～65,000	1,000 ～2,000	1,200 ～2,200	900 ～1,500	19 72 ～32 86
増減額 (B - A)	△10,500 ～△7,500	△5,170 ～△4,170	△5,120 ～△4,120	△2,640 △2,040	
増減率 (%)	△14.5 ～△10.3	△83.8 ～△67.6	△81.0 ～△65.2	△74.6 ～△57.6	
(ご参考) 前年同期実績 2019年9月期	69,009	6,279	6,271	3,633	81 02

2. 修正の理由

2020年9月期第2四半期の業績におきましては、概ね計画とおりに推移しておりますが、新型コロナウイルス感染が世界的に拡大するなか、今期の事業においては、一部医療機関への訪問自粛や新規臨床試験の開発延期、被験者の来院減少など業績に大きな影響を及ぼしております。一方で、新型コロナウイルスに関連する臨床試験への支援も急務となっております。また中国で2019年8月に薬品管理法の改正が公布されたことに伴って、既存製造業者への一斉点検・検査が実施され、医薬品の製造販売事業の製造ラインを当第1四半期において一時的に停止させたことから、供給体制を当初予定した水準に戻すことも重要な課題となっております。

新型コロナウイルスが及ぼす影響は現時点で不透明であり、2020年9月期の通期業績につきましては、その算定が非常に困難な状況にあります。国内の緊急事態宣言が2020年5月末に解除され、同6月から徐々に臨床試験等が正常化していく前提で算定した場合、連結売上高は65,000百万円、連結営業利益は売上高の減



少に伴い2,000百万円と想定しております。一方、新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、国内の緊急事態宣言が6月以降も継続し、臨床試験等の正常化に時間を要した場合には、連結売上高は62,000百万円、連結営業利益は売上高の減少に伴い1,000百万円を想定しております。

### 3. 今後の取り組み

従業員をはじめとし、被験者、医療機関の関係者、依頼者の安全性の確保を第一に考えて事業に取り組んでいますが、業績の確保に向けて①一層のコスト削減、②組織の活性化及びコスト構造改革の推進、③新型コロナウイルス感染症終息後に向けた新たな体制構築への取り組みを行ってまいります。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によってこれら予想数値と異なる可能性があります。

## II. 配当予想の修正について

### 1. 修正の内容

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2019年11月7日発表)	13円 00銭	15円 00銭	28円 00銭
今回修正予想		未定	1円 1銭
当期実績	10円 00銭		
(ご参考) 前期実績(2019年9月期)	13円 00銭	15円 00銭	28円 00銭

### 2. 配当予想修正の内容

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と収益力向上に向けて企業体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続して株主の皆様への利益還元を充実させていくことを基本方針としております。

期末配当につきましては、上記「業績予想の修正について」に記載のとおり、当期業績予想の見通しの前提となる仮定に不確実性があることから現段階では未定とし、業績の見通しが明らかとなった段階で、配当予想を速やかに公表します。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上